下水道用設計標準歩掛表 (平成28年度版) の改定

新旧対照表(追加分)

平成28年5月16日

一第1巻 管路一

	定趣旨	現	行(下水道)	用設計標準	準歩掛表(平成27年度版))			改	定
45 指定 修正	三事項の	(3) 機械運転単価表	ŧ			(3) 機械運転単価	表		
	_	機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
		油圧ショベル装着式バイブロハンマ杭打機		機-20	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →63 油圧ショベル山積 0.5m³/平積 0.4m³ 機械損料 1 名 称排出ガス対策型 (第 1 次基準値) → 油圧ショベル山積 0.5m³/平積 0.4m³ 機械損料 数 量 →1.50 機械損料 2 名 称 →油圧ショベル装着式 (超低騒音型) バイブロハンマ 最大起振力 88.3kN (普通型) 油圧ショベル装着式・可変超高周波型 バイブロハンマ 最大起振力 49.0kN (低振動型) 機械損料 数 量 →1.50	油圧ショベル装着式バイブロハンマ杭打機		機-20	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →56 油圧ショベル山積 0.5m³/平積 0.4m 機械損料排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 1 名 称 →油圧ショベル山積 0.5m³/平積 0.4m 機 械 損 料 数 量 →1.64 機 械 損料 2 名 称 →油圧ショベル装着式 (超低騒音型) バイブロハンマ 最大起振力 88.3kN (普通型) 油圧ショベル装着式・可変超高周波型 バイブロハンマ 最大起振力 49.0kN (低振動型) 機 械 損 料 数 量 →1.50
		クレーン装置付トラック	4 t級, 2.9 t吊	機-21	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →23 機 械 損 料 数 量 →1.02	クレーン装置付トラック	4 t 級, 2.9 t 吊	機-21	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →20 機 械 損 料 数 量 →1.06
		備考 油圧ショベルの損料は	バックホウの損料とす	¯る。		備考 油圧ショベルの損料は	バックホウの損料とす	¯る。	I

改定趣旨	厚準歩掛 「	現	行(下水道用設計標準歩掛表	(平成97/	生度版))	工 種 名	B-7 管路路面覆工 改 定		
指定事項の		90	1](十小旭川版刊标中夕周卷	(/3/, 2 1	T/X/W/ /		<u> </u>		
修正	(5)	機械運転単	価表			│ │ (5) 機械運転単価	表		
	l	械 名	規格	適用単価表	指定事項	機 械 名	規格	適用単価表	指定事項
			クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊		運 転 労 務 数 量→ 1.00		クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊		運 転 労 務 数 量→ 1.00
	バッ	ク ホ	ウ 排出ガス対策型 (第2次基準値)	機-28	燃料消費量→ 46		排出ガス対策型(第2次基準値)	機-28	燃料消費量→ 41
			山積 0.28m³/平積 0.2m³		機 械 賃 料 数 量→1.64		 山積 0.28m³∕平積 0.2m³		機械賃料数量→1.64
			クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊		運 転 労 務 数 量→ 1.00		クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊		運 転 労 務 数 量→ 1.00
	バッ	ク ホ	ウ 排出ガス対策型 (第2次基準値)	機-28	燃料消費量→ 71		排出ガス対策型(第2次基準値)	機-28	燃料消費量→ 59
			山積 0.45m³/平積 0.35m³		機 械 賃 料 数 量→1.64		山積 0.45m³/平積 0.35m³		機械賃料数量→1.64
			クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊		運 転 労 務 数 量→1.00		クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊		運 転 労 務 数 量→1.00
	バッ	ク ホ	ウ 排出ガス対策型 (第2次基準値)	機-28	燃料消費量→116		排出ガス対策型(第2次基準値)	機-28	燃料消費量→102
			山積 0.8m³/平積 0.6m³		機 械 賃 料 数 量→1.64		山積 0.8m³/平積 0.6m³		機械賃料数量→1.64
					運 転 労 務 数 量→1.00				運 転 労 務 数 量→1.00
		- ン装置	4 t 級,2.9t 吊	機-28	燃料消費量→44	カレーン装置付	4 t 級, 2.9t 吊	機-28	燃料消費量→38
		ラ ツ	⁷		機械賃料数量→1.23	トラック			機 械 賃 料 数 量→1.23
I									

Į _	改定趣旨		現行	(下水道用設計標準	歩掛表(平成2	7年度版))			改	定	
24	指定事項の	4-1									
	修正	(5)	機械運転単価表				(5)	機械運転単価表			
			機械名	規格	適用単価表	指定事項		機械名	規格	適用単価表	指定事項
						運転労務数量→1.00					運転労務数量→1.00
			クレーン装置付トラック	4 t級, 2.9 t吊	機-18	燃料消費量→38		クレーン装置付トラック	4 t級, 2.9 t吊	機-18	燃料消費量→33
						機械損料数量→1.2					機械損料数量→1.2
				ディーゼルエンジン駆動					ディーゼルエンジン駆動		
				排出ガス対策型		燃料消費量→48			排出ガス対策型		燃料消費量→41
				(第1次基準値),		機械賃料数量→1.1			(第1次基準値),		機械賃料数量→1.2
				45kVA					45kVA		
				ディーゼルエンジン駆動					ディーゼルエンジン駆動		
			発動発電機	排出ガス対策型	機-16	燃料消費量→66		発動発電機	排出ガス対策型	機-16	燃料消費量→56
			光 勤 尤 电 版	(第1次基準値),	19 2 10	機械賃料数量→1.1		元	(第1次基準値),	1992 110	機械賃料数量→1.2
				60kVA					60kVA		
				ディーゼルエンジン駆動					ディーゼルエンジン駆動		
				排出ガス対策型		燃料消費量→136			排出ガス対策型		燃料消費量→116
				(第1次基準値),		機械賃料数量→1.1			(第1次基準値),		機械賃料数量→1.2
131	指定事項の			125kVA					125kVA		
	修正										
		(6)	機械運転単価表				(6)	機械運転単価表			
			機械名	規 格	適用単価表	指定事項		機械名	規 格	適用単価表	指定事項
						運転労務数量→1.00					運転労務数量→1.00
			クレーン装置付トラック	4 t級, 2.9 t吊	機-18	燃料消費量→38 機械損料数量→1.2		クレーン装置付トラック	4 t級, 2.9 t吊	機-18	燃料消費量→33 機械損料数量→1.2
				ディーゼルエンジン駆動		VAVADA (1.2)		-	ディーゼルエンジン駆動		NAINTANE /1.4
				排出ガス対策型		燃料消費量→27			排出ガス対策型		燃料消費量→ 22
				(第1次基準値),		機械賃料数量→1.1			(第1次基準値),		機械賃料数量→1.2
				25kVA		VAUVACIONE TAIL			25kVA		VANIATION E
			発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動	機-16			発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動	機-16	
	1			排出ガス対策型		燃料消費量→66			排出ガス対策型		燃料消費量→56
				21 C /11/15 C		// IT IV / I I I I					
				(第1次基準値).		機械賃料数量→1.1			(第 1 次 是 準 値). I		機械資料数量→1.2
				(第 1 次基準値), 60kVA		機械賃料数量→1.1			(第 1 次基準値), 60kVA		機械賃料数量→1.2

1	現	行(下水道用設計標準歩	掛表 <u>(</u> 平成 2 7 ^年	丰度版))		改	定			
指定事項の										
修正	(4) 機械運転単価表	₹			(4) 機械運転単価表					
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項		
	発 動 発 電 機 排	ディーゼルエンジン駆動 出ガス対策型(第 1 次基準値) 5 kVA	機-16	燃料消費量→43 機械賃料数量→1.1	発 動 発 電 材	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型(第 1 次基準値) 45 kVA	機-16	燃料消費量→37 機械賃料数量→1.2		
	空 気 圧 縮 機 2	.2 m³/min	機-30	機械賃料数量→1.3	空気圧縮材	& 2.2 m³/min	機-30	機械賃料数量→1.3		
	本管用TVカメラ車 2	t 63 kW	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→11 機械損料数量→1.3	本管用TVカメラ耳	2 t 63 kW	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→11※ 機械損料数量→1.3		